ELEVATOR COMMUNICATIONS

2027年5月期　第１四半期

決算補足説明資料

2026年10月15日

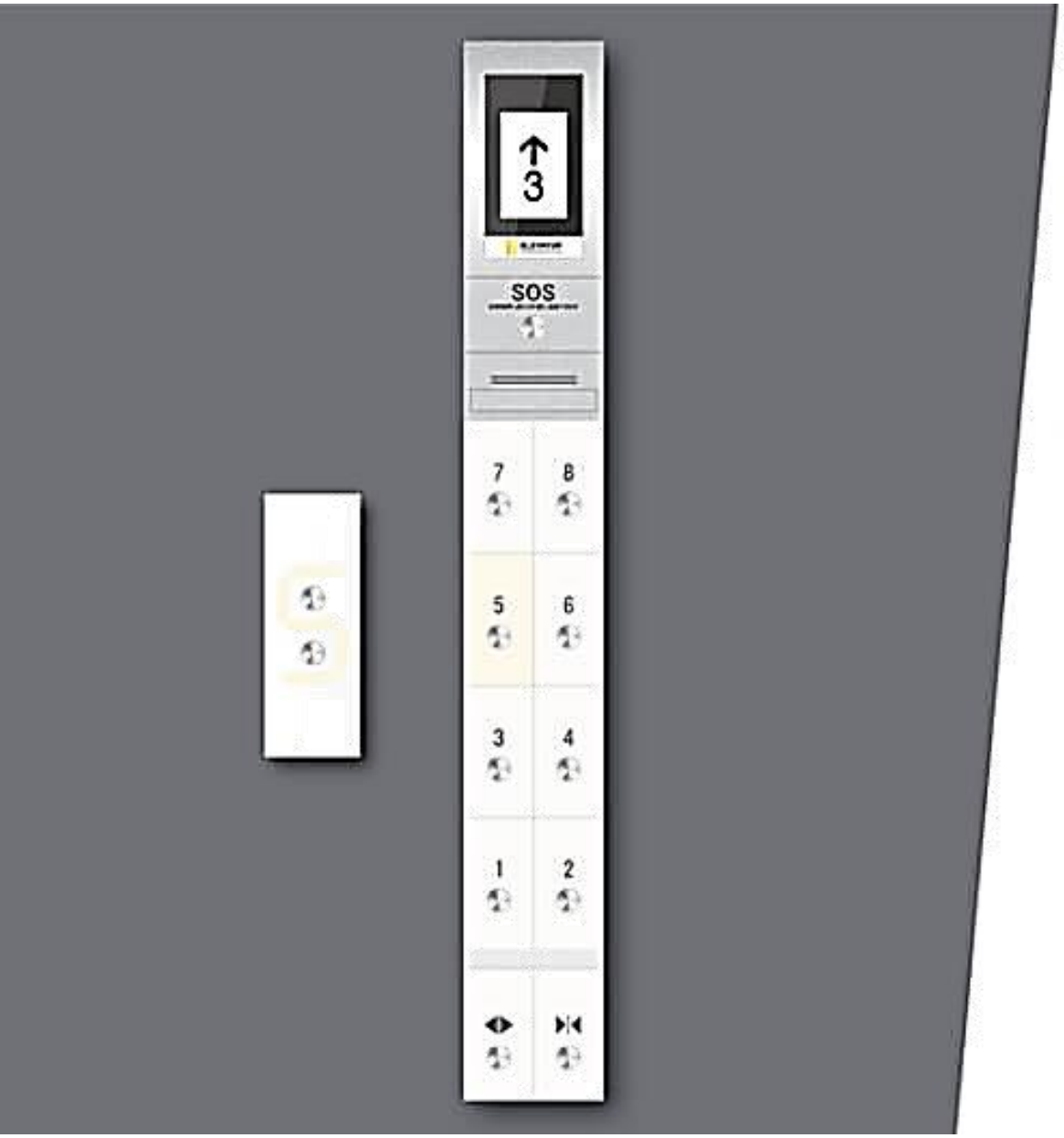
福岡証券取引所　本則市場
札幌証券取引所　本則市場

エレベーターコミュニケーションズ株式会社

証券コード：353Ａ

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

INDEX



01. 2027年５月期 第１四半期　業績概況 3

02. 直近のトピックス 10

03. 2027年５月期　通期業績予想 17

04. 今後の営業戦略 21

05. APPENDIX 33

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

01

2027年5月期
第１四半期
業績概況

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

2027年５月期第１四半期　決算ハイライト

ELEVATOR COMMUNICATIONS

売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益又は四半期純損失
1,165百万円	2百万円	1百万円	△2百万円
（前期同期比　11.3%増）	（前年同期比　95%減）	（前年同期比　96.3%減）	（前年同期　31百万）

業績概況

売上高はおおむね計画通りに推移し、前年同期比 11.3%増 で着地。

利益については、中長期的な成長及び収益拡大に向けた 人財投資等の先行費用増加 により前年同期比で 減益。

- 保守業務は、安定した保守サービスの提供及び新規顧客との取引拡大等により保守管理契約台数が順調に推移。
- 保全・リニューアル業務は、設備更新需要の取り込みや指摘提案活動を引き続き強化。
- 第１四半期は 大分支店を新設 し、未出店地域への新規出店が進む。

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

損益計算書（要約）

ELEVATOR COMMUNICATIONS

（単位：千円）

	2026年５月期 第１四半期	2027年５月期 第１四半期		
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	1,046,396	1,165,203	118,807	11.3%増
売上原価	728,089	822,591	94,502	12.9%増
売上総利益	318,306	342,611	24,305	7.6%増
販売費及び一般管理費	267,808	340,098	72,290	26.9%増
営業利益	50,498	2,512	△47,986	95.0%減
経常利益	52,823	1,944	△50,879	96.3%減
四半期純利益又は四半期純損失（△）	31,354	△2,095	△33,449	106.6%減

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

受注業務形態別の売上高実績

- 保守業務は、安定した保守サービスの提供及び新規顧客との取引拡大等により保守管理契約台数が順調に推移
- 保全・リニューアル業務は、設備更新需要の取り込みや指摘提案活動を引き続き強化

（単位：千円）

	2026年５月期 第１四半期	2027年５月期 第１四半期			業務形態別の主な増減要因
	実績	実績	増減額	増減率	
保守業務	456,065	486,823	30,758	6.7%増	保守管理契約台数が順調に推移
保全・リニューアル業務	590,149	678,217	88,068	14.9%増	
その他	181	161	△20	10.9%減	
売上高合計	1,046,396	1,165,203	118,807	11.3%増	－

注：当社の報告セグメントは「昇降機メンテナンス事業」の単一セグメントであります。

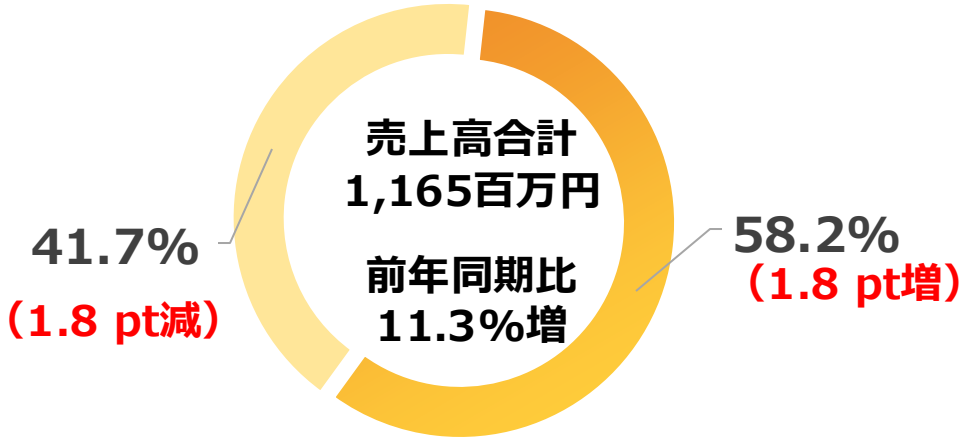
© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

業務形態別の売上高構成比

- 設備更新需要の取り込みや指摘提案活動により、保全・リニューアル業務の割合が増加傾向

2026年５月期　第１四半期
業績形態別の売上高占有率

2027年５月期　第１四半期
業績形態別の売上高占有率



保守業務　保全・リニューアル業務

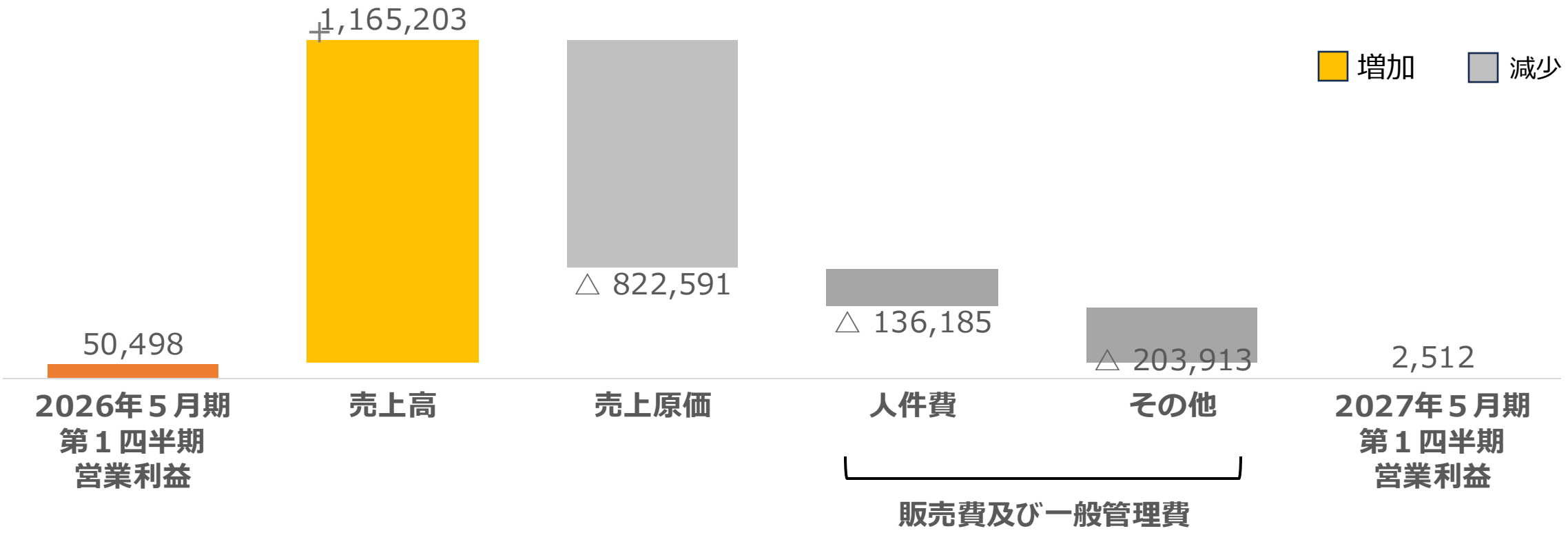
注：当社の報告セグメントは「昇降機メンテナンス事業」の単一セグメントであります。

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

営業利益の変動要因

- 営業利益は、長期的な成長及び収益拡大を目的とした人財投資等が先行し、前年比減少
- 売上高については、前年同期比11%と好調スタート

（単位：千円）



© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

貸借対照表（要約）

ELEVATOR COMMUNICATIONS

- 長期的な成長を見据えた先行投資が進み、自己資本比率は29.9%（前期末比0.1pt減）とやや減少

（単位：千円）

	2026年５月期	2027年５月期	
	実績	実績	増減額
流動資産	**1,601,339**	**1,569,923**	**△31,416**
現金及び預金	646,692	621,996	△24,696
固定資産	**302,513**	**339,579**	**37,066**
総資産	**1,903,852**	**1,909,502**	**5,650**
負債	**1,330,781**	**1,337,139**	**6,358**
有利子負債	496,079	483,696	△12,383
純資産	**573,070**	**572,363**	**△707**
資本金	137,416	138,110	694
資本剰余金	115,407	116,101	694
利益剰余金	319,430	317,334	△2,096
負債及び純資産合計	**1,903,852**	**1,909,502**	**5,650**
自己資本比率	**30.0%**	**29.9%**	**△0.1pt**

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

02

直近のトピックス

※当資料開示日（2026年７月15日～2026年10月15日）までのトピックスを掲載しております。

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

工事事例

➤ 2026年７月29日　リニューアル事例のご紹介

【施工写真】

【概要】

加藤産業株式会社様のエレベーター2基のリニューアル工事が2026年６月に完工いたしました。

【ポイント】

2基のエレベーターの主要部品交換に加え、エレベーター内の意匠（操作盤、照明、壁等）工事、加藤産業株式会社様で導入している警備システムとの連動など複数の施工をどちらか１台の稼働を維持しながら同時に行う工事を交互に行い、**安全機能の強化 と内装の刷新**を実施しました。

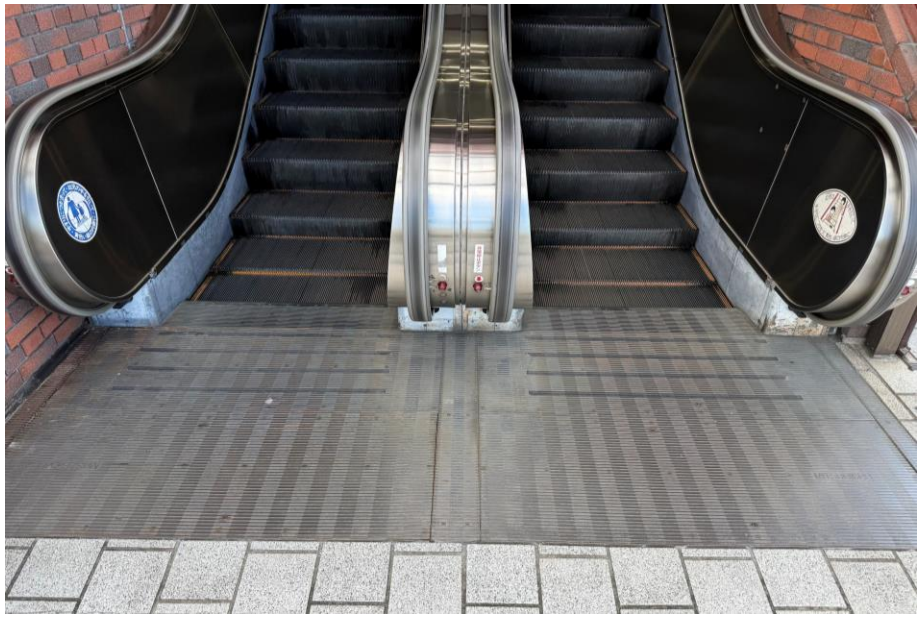
▷ 開示資料本文はこちら

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

受注拡大

➤ 2026年８月10日　エスカレーターリニューアルの受注が決定

【現状写真】



▷ 開示資料本文はこちら

【概要】

南足柄市の商業施設「ヴェルミ」のエスカレーターリニューアル工事を新規受注いたしました。

【ポイント】

今回の工事では、部品供給が停止している減速機・モーター等の主要部品を交換し、必要最低限の更新範囲に絞った**ECOリニューアルプランの初受注**となります。既存設備を活かしながら、安全性・機能面の維持・向上とお客様のご負担軽減を図った事例として、今後の売上拡大に寄与。

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

社会貢献

➤ 2026年８月31日　第２回ABO cup協賛のお知らせ

【ABO Cup 概要】
障がいのある方と健常者が同じフィールドで共にプレーし、スポーツを通じて相互理解と友情を育む交流型ゴルフトーナメントです。

【協賛背景】
当社は、人々の生活を支える社会インフラであるエレベーター等の安全・安心を担う企業として、**誰もが安心して社会参加できる環境づくり**は、重要な社会的責任であると考えております。 今後も、地域社会との交流や社会貢献活動を積極的に推進し、多様な人々が共に暮らし、活躍できる持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

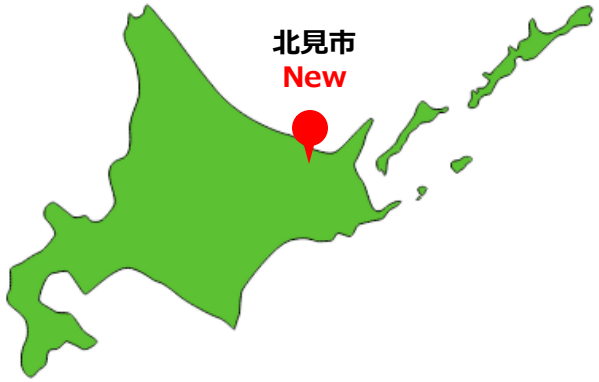
▷ 開示資料は こちら

▷ 大会概要は こちら

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

拠店拡大

➤ 2026年９月 「高知支店」「伊丹支店」開設、10月「北見支店」開設



【概要】

2026年９月１日に、四国エリアで２支店目となる**「高知支店」**、関西エリアとして5支店目となる**「伊丹支店」**、そして10月１日に、北海道エリアとして７支店目となる**「北見支店」**を開設いたしました。

本支店を含む支店及び営業所数の合計は **55拠店** となります。

※伊丹支店は、エレベーター等の関連部品の保管センター

【今後の狙い】

新規保守契約をはじめ営業・保守対応エリアの更なる拡充を目指す。

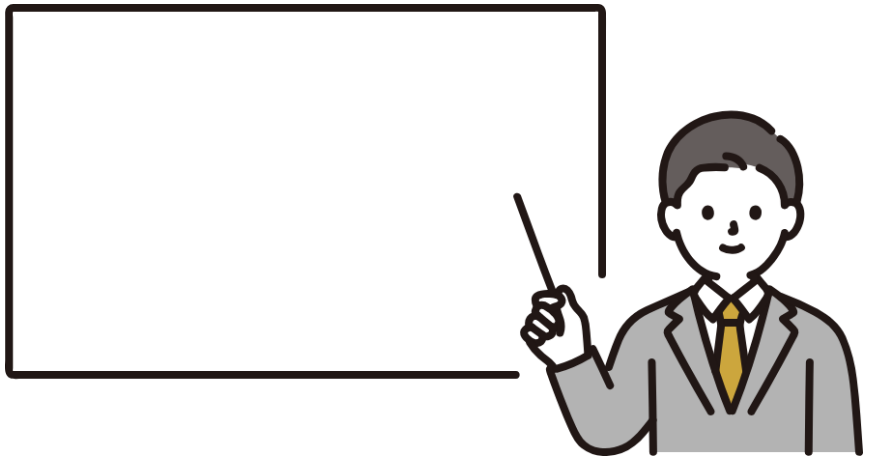
また、近隣支店とも連携し、災害時などにおける早期復旧を行う。

▷ ９月開示資料本文はこちら　　10月開示資料本文はこちら

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

会社説明会

➤ 2026年９月９日　個人投資家向け説明会（オンライン）に登壇



【概要】

・９月９日　福証IRフェアオンライン（オンライン開催）

　登壇者：取締役管理本部長　田淵　英治

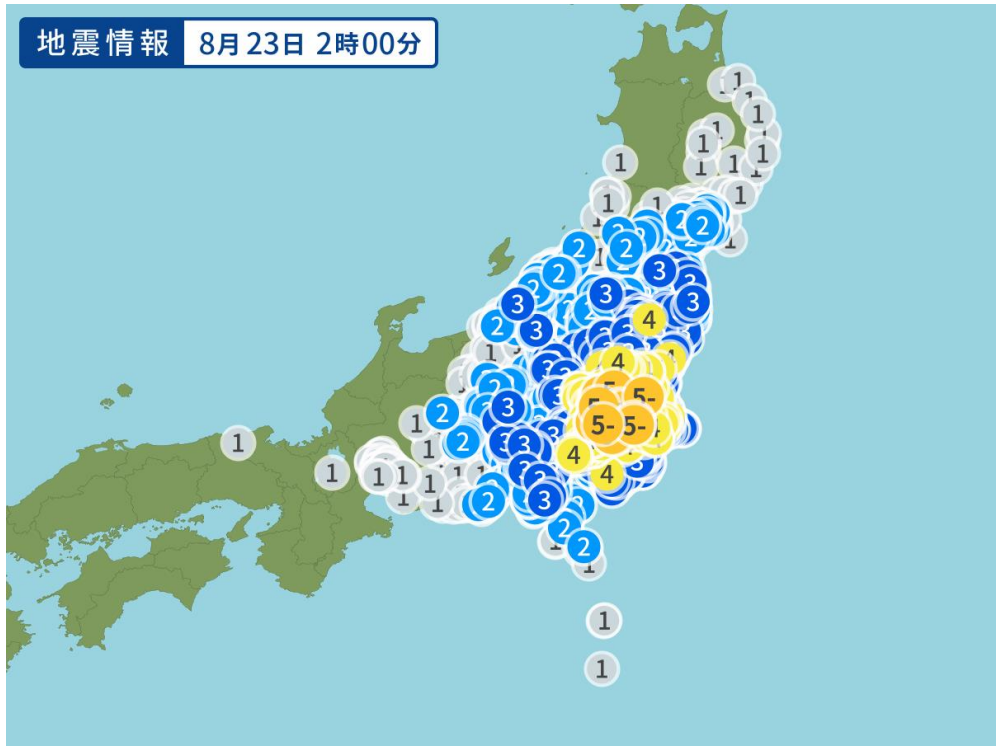
▷ 会社説明会資料は こちら

▷ 会社説明会内の回答質問は こちら

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

災害対応

➤ 2026年９月18日　茨城南部地震における当社復旧対応のお知らせ



出典：Yahoo!天気・災害＞地震情報＞地震の履歴一覧＞地震詳細

【地震の詳細】

日時	2026年８月23日（日）２時00分頃
震源地	茨城県南（深さ70km）
最大震度	５弱（M5.9）

【当社の対応】

発災当日中の復旧率	97.8%
対応技術員数	36（近隣からの応援含む）
全復旧までの所要時間	発災から44時間

▷ 開示資料本文はこちら

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

03

2027年5月期
通期業績予想

※通期業績予想は、現時点での合理的根拠に基づく見込みであり、
今後実際の結果はこれらと乖離する可能性があります。

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

2027年５月期　通期業績予想

ELEVATOR COMMUNICATIONS

- エスカレーターリニューアル等、来期以降の受注拡大を見据え、エスカレーター専任技術員や、メンテナンス技術員の採用拡大・人財育成への積極的な投資を実施するため、各利益は保守的に見込む

（単位：千円）

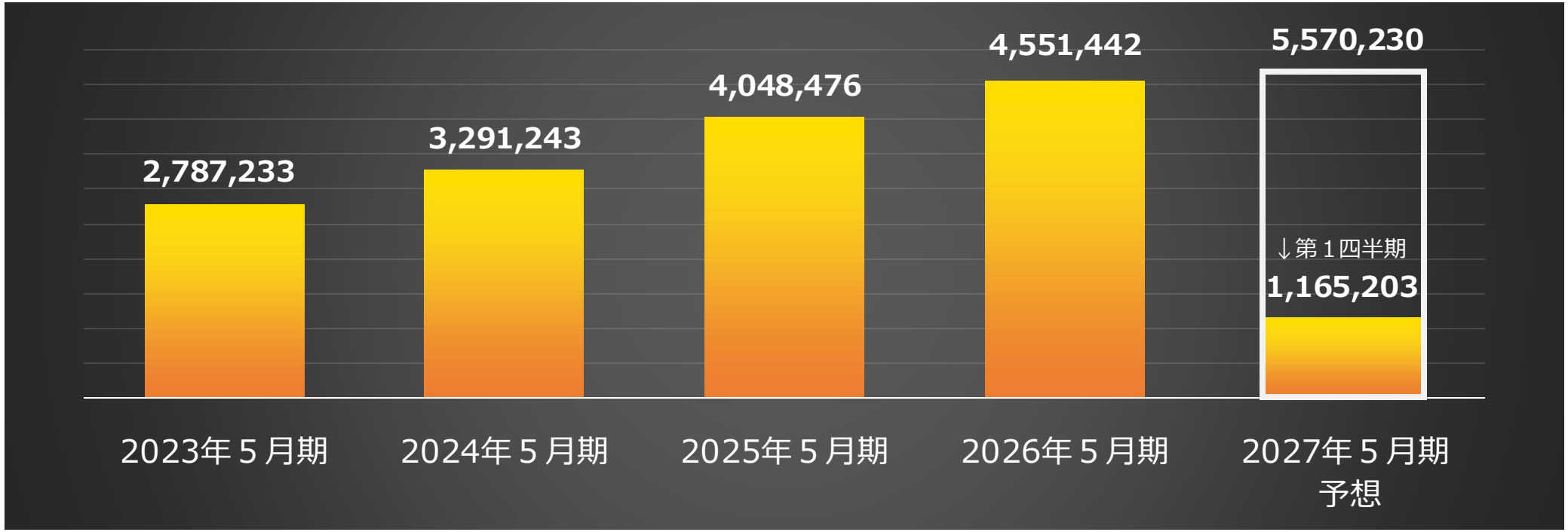
	2026年５月期	2027年５月期	2027年５月期		
	通期　実績	第１四半期　実績	通期　予想	前期比	進捗率
売上高	4,551,442	1,165,203	5,570,230	22.3%増	20.9%
売上原価	3,153,940	822,591	3,929,318	24.5%増	20.9%
売上総利益	1,397,501	342,611	1,640,911	17.4%増	20.8%
販売費及び一般管理費	1,116,342	340,098	1,327,956	18.9%増	25.6%
営業利益	281,159	2,512	312,954	11.3%増	0.8%
経常利益	290,835	1,944	307,554	5.7%増	0.6%
当期（四半期）純利益又は純損失	182,196	△2,095	193,587	6.2%増	0.0%

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

売上高成長

- 保守業務の安定成長に加え、エスカレーターを含む保全・リニューアル業務の需要を取り込み、2029年５月期の売上高「100億円宣言」をスローガンに年平均成長率18%を目指して連続増収を計画

（単位：千円）



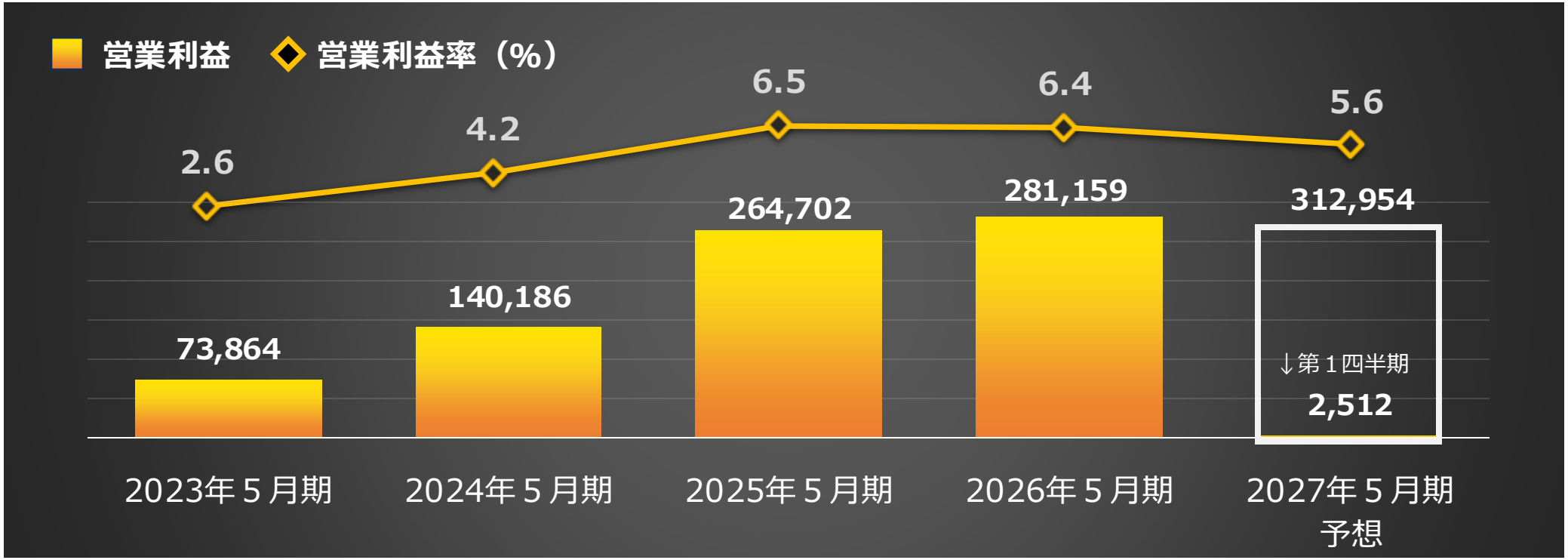
注：2023年５月期は、監査法人による監査を受けておりません。

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

利益成長

- 売上高成長に加え、業務プロセスの最適化による生産性の向上を進め、増益を見込む

（単位：千円）



注：2023年５月期は、監査法人による監査を受けておりません。

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

04

今後の営業戦略

※現時点での合理的根拠に基づく見込みであり、今後実際の結果はこれらと乖離する可能性があります。

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

【 Mission 】

すべてのお客様に
スペシャリティメンテナンスをフェアプライスで

20年以上にわたり多様な機種やメーカーの昇降機メンテナンスを対応してきた当社は、

多様な機種やメーカーに適応する「幅広い知見」 × その知見をつかった「応用力」

によりメーカーとは違った **確かな技術力** を身に着けております。

この技術力を高額や安売りすることなく、適正な価格でお客様に届けることが当社のミッションです。

さらに、昇降インフラ従事者として様々なお客様と長く携わっているため、

単なる昇降機メンテナンス会社ではなく、お客様の課題を解決できる並走パートナーとして

常に“利便性“を追求した「付加価値の創出」を行ってまいります。

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

セグメント別営業戦略 【保守業務】

ELEVATOR COMMUNICATIONS

テーマ

保守契約台数の維持・拡大

施策① 既存のお客様向けサービスの拡張、関係構築の強化

施策② M&A、事業譲受、代理店活用により、台数拡大を図る

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

セグメント別営業戦略 【保守業務】

ELEVATOR COMMUNICATIONS

施策① 既存のお客様向けサービスの拡張、関係構築の強化

下記新サービスの導入に応じて、既存のお客様への説明機会や訪問頻度を増やし、お客様との関係構築を図ります。
また、日々の課題についても、ヒアリングを行い、顧客満足度向上のため、引き続きサービスの拡張を行います。

① デジタルサイネージ（電子張り紙の導入）

点検日程などの電子貼り紙をサイネージに掲載が可能。
ビル自体のお知らせ等でも利用可能、さらに技術員負荷の軽減。

② システムの機能追加

下記機能を追加予定。

＜契約者サイト＞

- 検査報告書の閲覧・ダウンロード機能 【リリース済み】
- メール通知の導入機能
- その他利便性の改良

＜Qサポ＞

・QRコード読み取りによる故障連絡機能

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

セグメント別営業戦略 【保守業務】

ELEVATOR COMMUNICATIONS

施策② M&A、事業譲受、代理店活用により、台数拡大を図る

▶M＆A、事業譲受の方針

【戦略】

地域密着型の同業保守会社が抱える事業承継課題を解決し、社会インフラである保守サービスの継続と品質向上を担うことで、持続可能な体制を構築する。

【今後について】

事業承継の課題を抱える同業保守会社に対し、積極的にアプローチをかけ、当社との相乗効果を積極的に提案する。

▶代理店活用の方針

【代理店活用の狙い】

総合的なコストダウンを希望されるお客様など、既存営業拠点だけでは接点を持ちにくい顧客層へのアプローチを強化。

【今後の取り組み】

・代理店募集ページの作成
・新規協力代理店の募集強化
・運用体制の効率化

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

セグメント別営業戦略 【保全・リニューアル業務】

ELEVATOR COMMUNICATIONS

テーマ

体制の整備による案件獲得増 と エスカレーターを第２の柱へ

施策① お客様用管理システムの開発による提案機会の損失防止

施策② 既存顧客への事前説明・継続提案、負担軽減サービスの導入

施策③ エスカレーターリニューアルの施工体制、営業活動に注力

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

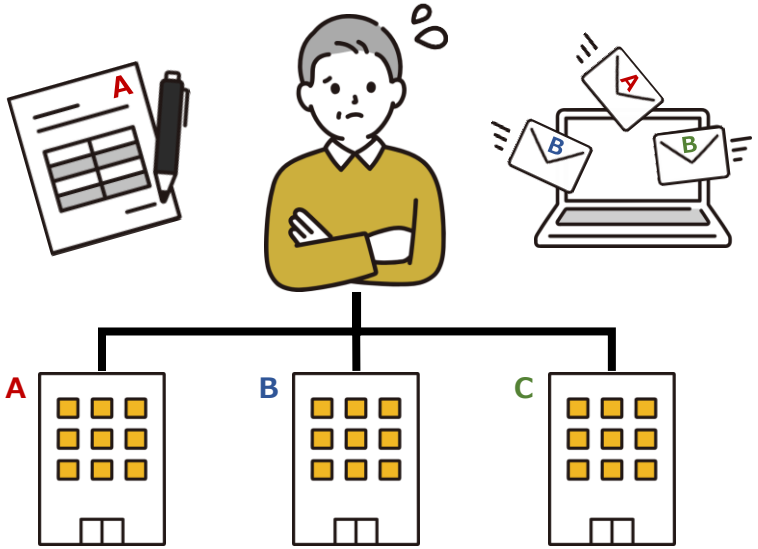
セグメント別営業戦略 【保全・リニューアル業務】

ELEVATOR COMMUNICATIONS

施策① お客様用管理システムの開発による成約機会の損失防止

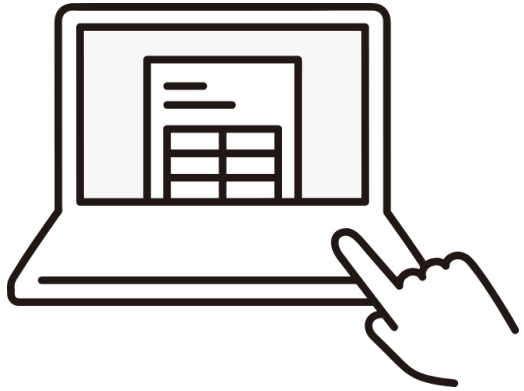
現状

物件毎にメール・訪問で五月雨式に提案していたため、複数物件を持っている方は管理が煩雑に。



施策

見積書、工事状況、日程をサイトで閲覧、見積等の承認、管理ができるシステムを導入予定。



これにより、機会損失を防止するとともに、営業コストの削減を図り、保全工事の受注率向上を目指す。

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

セグメント別営業戦略 【保全・リニューアル業務】

ELEVATOR COMMUNICATIONS

施策② 既存顧客への事前説明・継続提案、負担軽減サービスの導入

現状

＜既存お客様＞

・契約済みのうち、リニューアル対象台数は **1,500台以上**

★リニューアル対象は随時拡大中

＜お客様の負担軽減策＞

・工事料金のクレジットカード払いが可能

・工事料金の分割払いサービス「BRO-ZERO」を導入

施策

＜既存お客様向け＞

・リニューアル対象の数年前から **事前説明の推進**

・受注数に応じた **施工体制の拡充**

＜その他＞

・施工事例の紹介を継続して実施

・工事負担が軽減できるサービスの推進

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

セグメント別営業戦略 【保全・リニューアル業務】

ELEVATOR COMMUNICATIONS

施策③ エスカレーターリニューアルの施工体制整備、顧客獲得に注力

納期とコスト＝50%削減、搬入時の建物への影響＝ゼロ、**工事期間＝3週間** という当社実績を高くご評価いただき、お問い合わせが殺到中。今後は、提案・営業の強化により、問合せ及び受注の大幅拡大を図る。並行して、技術員の増員、施工体制の整備を進める。

＜直近の施工事例＞

【茨城県 商業施設】 ヒタチエ

【北海道 旅館】 第一滝本館

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

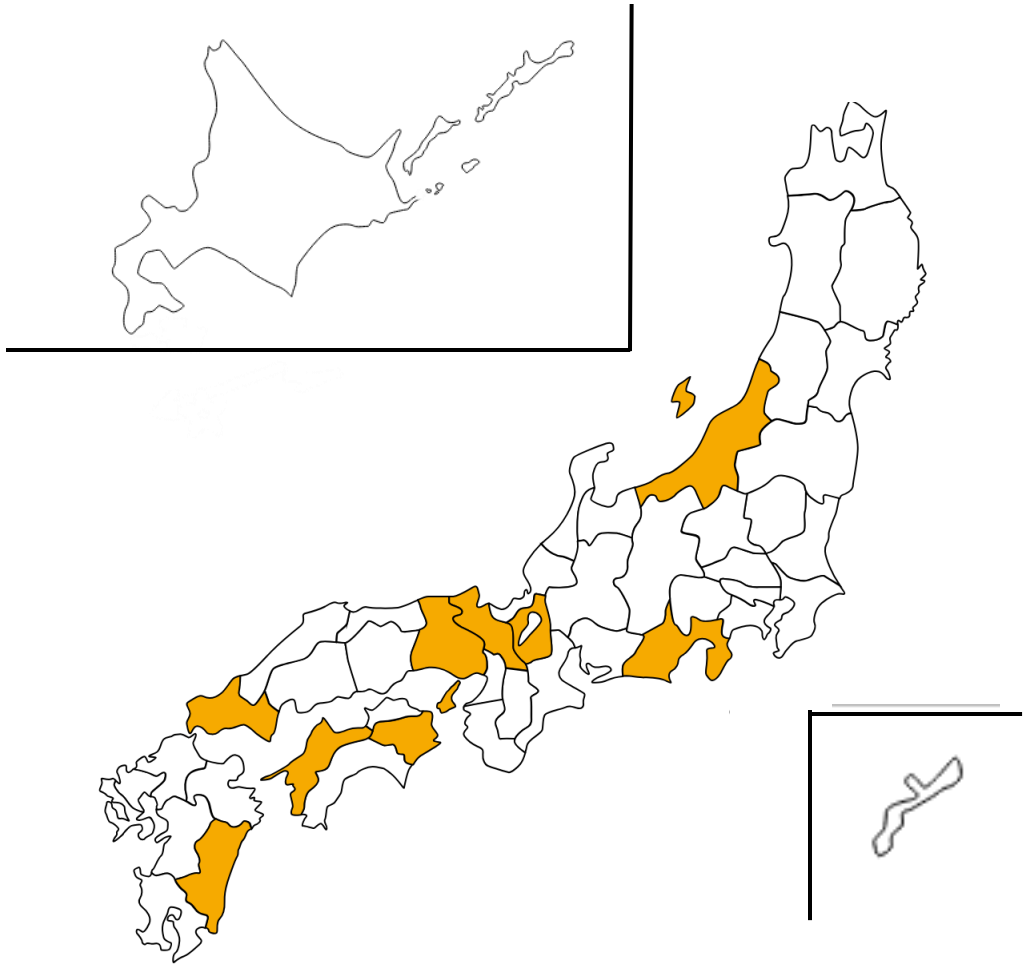
人員拡大

2026年５月期末の社員数は、前期末比**32名の純増**、**総社員数248名（技術員比率66.9%）**。
今後も、旺盛なリニューアル需要へ対応するため、施工チームを中心とした技術員の大幅増員を計画。

	2025年５月期末		2026年５月期末		2027年５月期末　計画		
	人数	割合	人数	割合	人数	増減	割合
技術員	134名	62.0%	166名	66.9%	190名	24名増	63.3%
営業	37名	17.1%	38名	15.3%	57名	19名増	19.0%
その他	45名	20.8%	44名	17.7%	53名	9名増	17.7%
合計	216名	100.0%	248名	100.0%	300名	52名増	100.0%

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

新規出店計画



■ 未出店地域

2026年度５月期は４支店を新設。

今後も、売上高100億円を目指し、広域対応が行える体制づくりとして、未出店地域を中心とした出店拡大を継続。

【2026年度５月期に行った新規開設】

48支店目	三重支店（三重県津市）
49支店目	奈良支店（奈良県奈良市）
50支店目	和歌山支店（和歌山県和歌山市）
51支店目	宮古島支店（沖縄県宮古島市）

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

今後の成長イメージ

持続可能な事業基盤の整備とさらなる継続成長へ

売上高 約55億円

売上高 約80億円

売上高 約100億円

2027年５月期　計画

成長に必要な土台への投資・整備（人財、システム、支店）を進める。

2028年５月期　計画

支店網、人財、施工体制が整い、各業務の歯車がかみ合い、売上規模を引き上げる。

2029年５月期　計画

- 全国での保守サービス網確立
- 安定的な技術人材の供給体制
- 保守からリニューアルまで一括対応
- 独自商品/独自システムによる差別化

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

05

APPENDIX

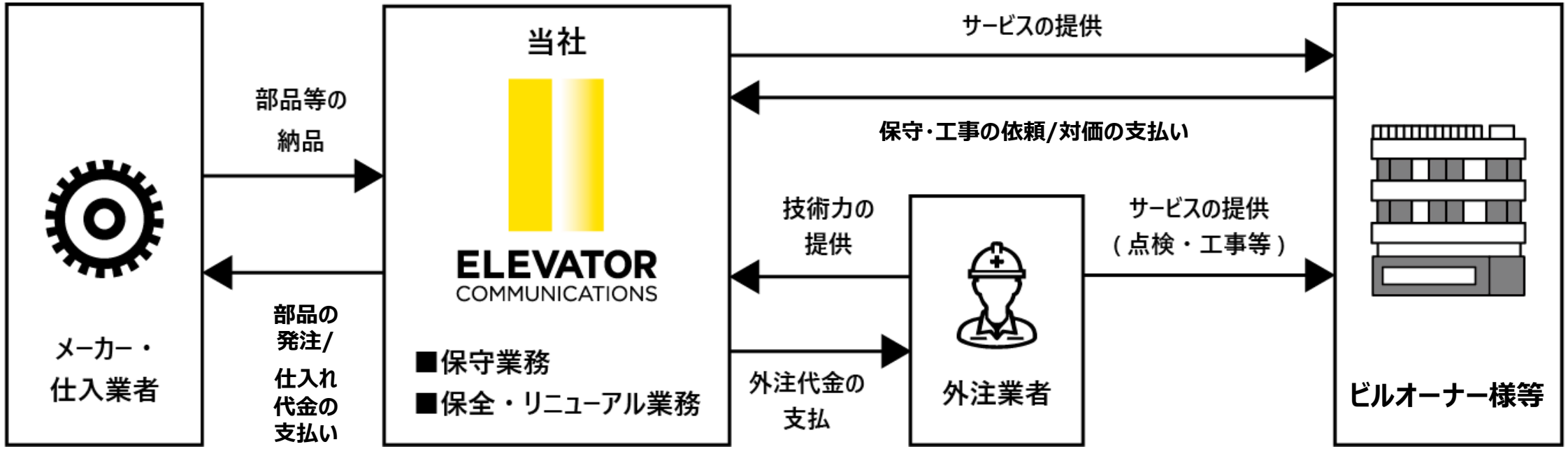
© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

会社概要（2026年8月31日現在、支店は10月１日現在）

社　　名	エレベーターコミュニケーションズ株式会社
設　　立	2006年２月
代　表　者	代表取締役社長　薄田　章博
本　　社	東京都品川区南大井六丁目16番16号 鈴中ビル大森３階
拠　店　数	全国55拠点 ※各拠点一覧
資　本　金	137百万円
従　業　員	265名（パート･アルバイトは除く）
事業内容	･エレベーター等の保守/点検 ･エレベーター等の保全工事及び改修 ･リニューアル工事
WEBサイト	https://www.evcom.co.jp/

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

ビジネスの流れ



注１．案件紹介者や代理店に対し、紹介料を支払う場合があります。

注２．メーカーや他の独立系メンテナンス会社から、保守業務を受託するケースもあります。

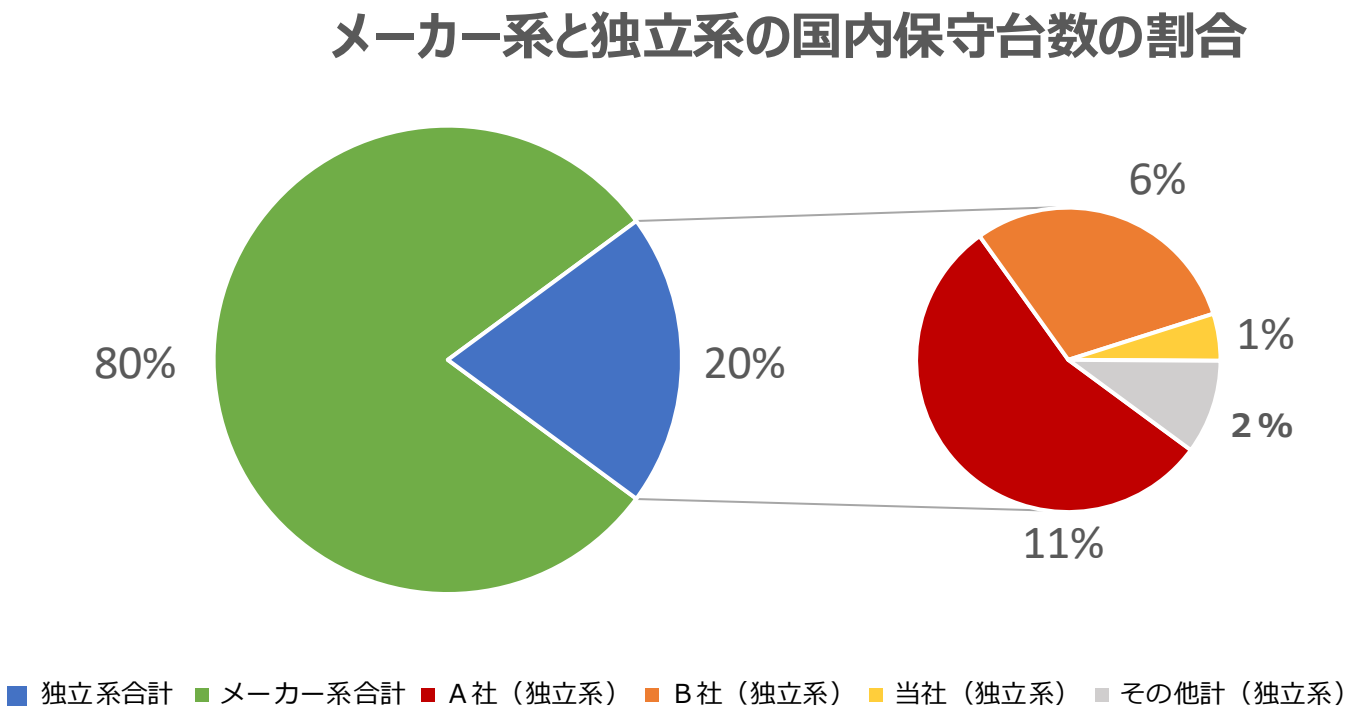
注３．建築基準法においては、昇降機等検査員による年１回の法定検査を実施し、その検査結果を
ビルオーナー様等である昇降機所有者又は昇降機管理者に報告することが義務づけられております。

注４.一部地域に関しては、外注業者を使用しております。

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

当社のシェア

- 昇降機の国内保守台数の割合としては、**メーカー系が約80%、独立系が約20%**となっており、徐々に独立系の割合が増加傾向
- 当社のシェアは **約１%**



色	分類	保守台数
	メーカー系合計	約70万台
	A社（独立系）	約12万台
	B社（独立系）	約 5万台
	当社（独立系）	約 1万台
	その他計（独立系）	約 2万台
	国内合計	約90万台

※出所
- 一般社団法人 日本エレベーター協会「ELEVATOR JOURNAL No.55」より
- 各社データは当社調べ

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

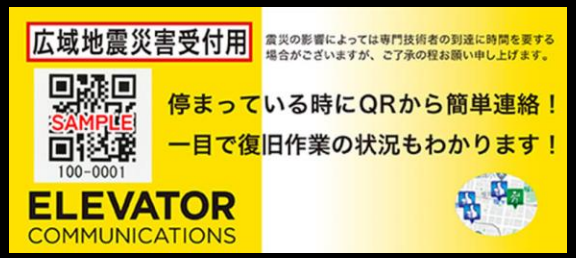
ITの活用①

➤ WEB復旧要請システム 「Qサポ」

当社が保守を担当するエレベーターに、「Qサポ」アクセス用のQRコードを添付。

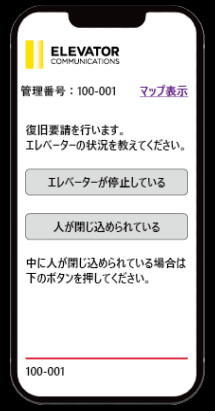
突発的な災害時には、利用者自身で当該QRコードをスマホ等で読み取り、直接、復旧要請の連絡が可能となる。

また、「Qサポ」を利用することにより、マップ上で復旧対応に駆けつける技術員の位置情報をリアルタイムで確認できるほか、おおよその到着時間を把握することができる。



災害発生時、扉付近又はエレベーター内にあるステッカーからQRコードを読み込む

➤



状況を選択のうえ復旧を要請

➤

技術員の現在地や到着までの所要時間をリアルタイムで確認

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

ITの活用②

➤ 災害時発動機能 「イージスモード」

当社基幹システム「Assist」上で、遠隔監視と災害対応の管理を実現する機能。

大規模な災害が発生した場合でも、「イージスモード」に切り替えることにより、被災した物件情報を即座に共有でき、当社専門スタッフと現地技術員は、「災害一覧」と「災害マップ」を参照しながら、リアルタイムで迅速な対応が可能。

＜災害一覧＞

被災した物件の情報を、リアルタイムで社内共有できる。

復旧及びその対応状況等が、ひと目で確認でき、スムーズな復旧作業を実現。

＜災害マップ＞

現地技術員は登録されている災害マップを随時参照・確認しながら、自身のいる場所から最も近い現場に直行することで、迅速かつ効率的に復旧作業が可能。

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

沿革

年月	内容
2006年２月	エレベーターの保守・管理業務の受託を目的として、東京都豊島区西池袋に当社を設立（資本金15,000千円）
2006年６月	支店第一号である甲府支店を開設
2007年１月	当社本社を東京都港区芝に移転
2007年１月	エレベーターのリニューアル業務の受託を開始
2012年10月	アップルエレベーター株式会社（本社：青森県八戸市）から青森地区のエレベーター保守事業を譲り受け
2014年４月	当社基幹システム上で遠隔監視・災害対応を管理する「イージスモード」機能の運用開始
2014年11月	当社本社を現在の東京都品川区南大井内で移転
2015年２月	有限会社平成エレベーター（本社：福岡県福岡市）から九州地区のエレベーター保守事業を譲り受け
2018年12月	建物管理事業を営むワンライフ株式会社（東京都豊島区）を吸収合併
2019年５月	大阪地区でのエレベーター保守関連事業を目的として、エレベーターアクシス株式会社（本社：大阪府大阪市）を合弁設立
2021年７月	地震災害時WEB復旧要請システム「Ｑサポ」の提供開始
2025年4月	札幌証券取引所アンビシャスへ株式上場
2026年３月	福岡証券取引所本則市場に重複上場、札幌証券取引所本則市場に市場変更

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

拠点一覧①（本社、55支店及び出張所）

※2026年10月１日現在の所在地を記載しております。

ELEVATOR COMMUNICATIONS

No.	設置年月	拠点
0	2006年２月	本社（東京都品川区）
1	2006年６月	甲府支店（山梨県甲府市丸の内）
2	2008年８月	相模原支店（神奈川県相模原市）
3	2008年10月	青森支店（青森県青森市）
4	2009年７月	横浜支店（神奈川県横浜市）
5	2009年７月	宇都宮支店（栃木県宇都宮市）
6	2010年６月	長野支店（長野県長野市）
7	2010年10月	盛岡支店（岩手県盛岡市）
8	2011年４月	秋田支店（秋田県秋田市）
9	2011年４月	松本支店（長野県松本市）
10	2011年６月	仙台支店（宮城県仙台市）
11	2012年４月	東京西支店（東京都小平市）
12	2012年４月	高崎支店（群馬県高崎市）
13	2012年10月	八戸支店（青森県八戸市）

No.	設置年月	拠点
14	2012年11月	郡山支店（福島県郡山市）
15	2013年１月	山形支店（山形県山形市）
16	2013年４月	茨城支店（茨城県つくば市）
17	2013年４月	千葉支店（千葉県千葉市）
18	2013年４月	さいたま支店（埼玉県さいたま市）
19	2013年11月	富山支店（富山県富山市）
20	2014年４月	城北支店（東京都板橋区）
21	2014年４月	城東支店（東京都墨田区）
22	2014年９月	金沢支店（石川県金沢市）
23	2014年10月	城南支店（東京都品川区）
24	2014年12月	北九州支店（福岡県北九州市）
25	2015年２月	福岡支店（福岡県福岡市）
26	2015年2月	岐阜支店（岐阜県岐阜市）
27	2016年10月	函館支店（北海道函館市）

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

拠点一覧②（本社、55支店及び出張所）

※2026年10月１日現在の所在地を記載しております。

ELEVATOR COMMUNICATIONS

No.	設置年月	拠点
28	2016年10月	福井支店（福井県福井市）
29	2016年10月	佐賀支店（佐賀県佐賀市）
30	2017年10月	鳥取支店（鳥取県鳥取市）
31	2017年11月	松江支店（島根県松江市）
32	2018年５月	名古屋支店（愛知県名古屋市）
33	2018年７月	札幌支店（北海道札幌市）
34	2019年４月	熊本支店（熊本県熊本市）
35	2020年１月	長崎支店（長崎県長崎市）
36	2020年２月	登別支店（北海道登別市）
37	2020年10月	虻田支店（北海道虻田郡）
38	2020年11月	鹿児島支店（鹿児島県鹿児島市）
39	2021年11月	岡山支店（岡山県岡山市）
40	2022年１月	沖縄支店（沖縄県沖縄市）
41	2022年７月	日立出張所（茨城県日立市）

No.	設置年月	拠点
42	2022年10月	旭川支店（北海道旭川市）
43	2023年４月	広島支店（広島県広島市）
44	2023年10月	高松支店（香川県高松市）
45	2023年11月	大阪支店（大阪府大阪市）
46	2024年９月	石垣支店（沖縄県石垣市）
47	2024年12月	小樽支店（北海道小樽市）
48	2025年８月	三重支店（三重県津市）
49	2026年４月	奈良支店（奈良県奈良市）
50	2026年４月	和歌山支店（和歌山県和歌山市）
51	2026年４月	宮古島支店（沖縄県宮古島市）
52	2026年６月	大分支店（大分県大分市）
53	2026年９月	高知支店（高知県高知市） New
54	2026年９月	伊丹支店（兵庫県伊丹市） New
55	2026年10月	北見支店（北海道北見市） New

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.

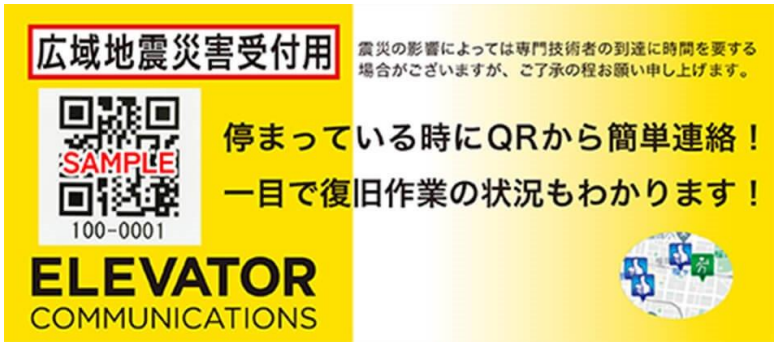
免責事項及び将来見通しに関する注意事項

- 当資料に記載された内容は、本日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なく変更される可能性があります。
- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

【 ＩＲに関するお問い合わせ先 】

エレベーターコミュニケーションズ株式会社　管理本部　ＩＲ担当

電子メール：mgmt@evcom.co.jp　　電話：03-5767-8111



★当社独自のWEB復旧要請システム「Qサポ」★

突発的な災害時に、利用者自身で当該QRコードをスマホ等で読み取り、直接、復旧要請の連絡が可能となるシステム。

要請後は、マップ上で復旧対応に駆けつける技術員の位置情報をリアルタイムで確認できるほか、おおよその到着時間を把握することができる。

© 2026 Elevator Communications Co., Ltd. All rights reserved.